

平成29年度 第1回外部評価委員会

事務事業評価シート

事務事業評価シート(対象:H28年度実施事業)

所属コード			1601000			位置付け			主要事業			総合戦略			市長公約		
事務事業名			八潮市民文化会館施設管理事業			部			市民活力推進部			実施主体			市 県 国 その他		
施策の柱(章)			1 教育文化・コミュニティ			課			市民協働推進課			継続年数			5年以下 6~10年 11~15年 16年以上		
大施策(節)			7 個性あふれる豊かな市民文化づくり			係・担当			文化推進係			根拠法令等			有 [八潮市民文化会館条例・八潮市勤労福祉センター条例] 無		
基本施策			2 文化施設の充実			担当者名			菊名 善憲 内線 391			事業の対象			全市民 市民の一部 内部職員		
予算科目			会計 01 款 2 項 1 目 22 事業 2									その他 []					
事業目的			地域に根ざした文化活動を一層促進するため、各種文化施設の充実や有効利用、相互の連携を強化する。						事業概要			<ul style="list-style-type: none"> 法令に基づく適正な施設管理運営業務 中長期保全計画に基づく施設の修繕・改修工事の実施 					

単位：円		H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
事業費(A)		166,009,138	78,184,000	80,837,468	103,573,000
事業費の内訳	委員報酬				
	物件費	55,956,297	69,474,000	72,214,962	102,125,000
	維持補修費	109,905,441	8,541,000	8,490,506	1,140,000
	扶助費				
	補助費等	50,400	72,000	35,000	92,000
	普通建設事業費 その他	97,000	97,000	97,000	216,000
財源の内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				7,200,000
	その他	9,693,450	11,983,000	10,921,558	10,817,000
一般財源	156,315,688	66,201,000	69,915,910	85,556,000	
職員数(人/年)		0.80	1.10	1.25	1.15
職員人件費(B)		6,591,230	9,323,600	10,019,889	10,036,050
総事業費(A+B)		172,600,368	87,507,600	90,857,357	113,609,050
人件费率(B/(A+B))		3.8%	10.7%	11.0%	8.8%
予算執行率(職員人件費除く)				103.4%	

事業の実施状況(見込み)	
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> 開館日数305日のうち、5,681件、90,254人の利用があった。 屋上防水及び外壁修繕・集会室前ソファ張替修繕を含む24箇所の修繕を行った。
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> 開館日数305日のうち、5,981件、99,507人の利用があった。 緞帳落下防止修繕や蓄電池設備・パッケージ空調機修繕を含む26箇所の修繕を行った。
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> 本年度の開館日数については、305日を予定している。 施設修繕については、非難誘導灯交換修繕等を予定し、老朽化に伴う工事については防火シャッター改修工事を含む4件の工事を予定している。

活動指標名	単位		平成27年度	平成28年度	成果指標名	単位		平成27年度	平成28年度
文化会館開館日数	日	計画	305	305	文化会館利用件数	件	目標	6,000	6,000
		実績	305	305			実績	5,681	5,981
		計画			文化会館利用者数	人	目標	112,000	100,000
		実績					実績	90,254	99,507

■事業の評価 (H28年度の事後評価)

①必要性の評価		評価者名	馬場 光隆
当該事務事業について市が関与する必要性			
A:非常に高い		B:高い	
C:ある程度認められる			
判断理由	法律、政令、省令、通達等により、市に実施が義務づけられている		
	事業を止めた場合、市民の生命、財産等に大きな影響を与える恐れがある		
	サービスの拡大や充実を求める市民意見・要望が増えている		
	市が何らかの関与(監督、指導等)をしないと、問題が発生する可能性がある		
	当該事務事業が解決すべき課題が増えている。増えることが予想される		
その他			
②目標達成度の評価			
H28年度の目標達成度			
A:達成した(100%)		B:概ね達成できた(80%以上)	
C:達成できなかった(80%未満)			
判断理由	活動指標の目標を達成した		
	成果指標の目標を達成した		
	業務改善方針等の指標に現れない目標を達成した		
	達成できた内容/できなかった内容・理由(必ず記入)		
	活動指数については、目標の達成ができたが、成果指数については、利用件数、人数とも目標を下回ってしまった。原因としては、空調設備の不具合により一時的に貸出しできない施設があったため利用件数等に影響が出たものと考えられる。		
③実施内容・方法の評価			
成果向上やコスト削減のための見直しの余地			
余地が大きい		余地がある	
余地が全くない			
判断理由	民間委託や指定管理者制度の活用などの事業手法を再検討する余地がある		
	事業費や人件費などのコストを圧縮する工夫が考えられる		
	業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化することが考えられる		
	社会情勢やニーズの変化等により、サービスの対象・量・水準を見直すことが考えられる		
	成果を高める工夫が考えられる		
その他			
④公平性の評価			
i. 受益者が一部に偏っているか			
偏りがある		やや偏りがある	
偏りがない		非該当	
ii. 受益者負担の見直しの余地			
余地がある		余地がない	
受益者負担がない		非該当	
判断理由	使用料・手数料等の料金設定を市で行うことができる		
	国や県、民間事業者等が同種・類似サービスを提供している		
	受益者の負担割合が国等の定めている基準を下回っている		
	使用料・手数料等の見直しから5年以上経過している		

■計画期間を通じた課題と対応策

課題	評価時点で認識されている問題・課題		
	課題はほとんどない	ある程度課題がある	大きな課題がある
考えられる対応策	平成2年の開館以来、部分的な修繕等は行っているが、施設及び設備が老朽化している。 平成26年度に行った、市民文化会館建物診断の結果に基づき計画的かつ効率的に工事、修繕等を行う。		

■総合評価(最終目標に対する進捗状況)

- ☆☆☆: 順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)
- ☆☆: 概ね順調(最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調)
- ☆: 遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

総合評価	判断理由
概ね順調	パッケージ空調機の一部が故障し、一時的に施設を貸し出せない状況になったが、故障箇所を修繕し対応した。

今後の方向性(計画期間を通じた方向)

方向性	:現状のまま継続		:休止・廃止		:終了・完了	
	:見直して継続		:他事業と統合して継続			
	→	重点化(拡充)	手段を改善	効率・簡素化	その他	
経営資源(H29年度比)	事業費	増加	現状維持	削減		
	労働量	増加	現状維持	削減		
今後の実施方針(改善方針)	市内唯一の大規模なホールを有する施設であり、今後については、八潮市公共施設マネジメント基本方針及び本館における中期保全計画をアセットマネジメントアクションプラン(基本計画)に基づき、計画的かつ効率的に適正な施設運営に努める。					

事務事業評価シート(対象:H28年度実施事業)

所属コード			1801500			位置付け		主要事業		総合戦略		市長公約			
事務事業名		公園等整備事業			部		都市デザイン部			実施主体		市 県 国 その他			
施策の柱(章)		5 都市基盤・環境			課		公園みどり課			継続年数		5年以下 6~10年 11~15年 16年以上			
大施策(節)		4 水と緑ゆたかな都市景観づくり			係・担当		施設係			根拠法令等		有 [都市公園法] 無			
基本施策		4 公園の整備			担当者名		平野 敏幸		内線		320		事業の対象		
予算科目		会計		01 款		8 項		3 目		2 事業		1		全市民 市民の一部 内部職員	
事業目的		・通常時は地域住民に親しまれる身近な公園・広場として、災害時にはオープンスペースとして活用できる公園・広場等の整備を進める。						事業概要		・中川河川敷包括占用区域の多目的広場について、国土交通省と協議を行いながら、スポーツレクリエーション機能を有する運動広場等の整備を進めていく。 ・土地区画整理事業等で用地確保した公園の整備を進めていく。なお、整備にあたっては、町会や地域住民とワークショップ等を行い、整備内容を決めていく。					

単位：円		H27決算	H28予算	H28決算	H29予算
事業費(A)		0	46,504,000	46,433,900	18,000
事業費の内訳	委員報酬				
	物件費		18,000	15,500	18,000
	維持補修費				
	扶助費				
	補助費等		108,000	108,000	
	普通建設事業費 その他		46,378,000	46,310,400	
財源の内訳	国庫支出金				
	県支出金				
	市債				
	その他 一般財源		46,504,000	46,433,900	18,000
職員数(人/年)	0.30	1.85	1.85	1.80	
職員人件費(B)	2,542,800	15,680,600	14,829,435	15,708,600	
総事業費(A+B)	2,542,800	62,184,600	61,263,335	15,726,600	
人件费率(B/(A+B))	100.0%	25.2%	24.2%	99.9%	
予算執行率(職員人件費除く)			99.8%		

事業の実施状況(見込み)	
平成27年度	・中川新堤築堤により、大瀬運動公園施設の一部機能確保ができなることから、市の対応策を検討し、国土交通省と協議を進めてきた結果、公共補償として中川河川敷包括占用区域内の多目的広場に移転することで基本的な合意に至った。 ・この合意に基づき、補償内容を確定するため、実施設計業務委託を発注した。
平成28年度	・前年度に引続き、大瀬運動公園施設を中川河川敷包括占用区域に一部機能移転のための公共補償について、国土交通省と協議を行った。 ・市民に身近な公園として、また、災害時におけるオープンスペースとしても活用できる大曽根公園の整備を行った。
平成29年度	・大瀬運動公園施設の一部機能移転に伴う公共補償の内容及び費用について、国土交通省との協議が整い次第、工事費の確保を行い、工事発注を行う。

活動指標名	単位		平成27年度	平成28年度	成果指標名	単位		平成27年度	平成28年度
		計画			市民一人当たりの都市公園面積	m ² /人	目標	2.22	2.22
		実績					実績	1.94	2.19
		計画			公園・広場等整備数	箇所	目標	117	117
		実績					実績	113	116

■事業の評価 (H28年度の事後評価)

①必要性の評価		評価者名	小倉 達也
当該事務事業について市が関与する必要性			
A:非常に高い		B:高い	C:ある程度認められる
判断理由	法律、政令、省令、通達等により、市に実施が義務づけられている		
	事業を止めた場合、市民の生命、財産等に大きな影響を与える恐れがある		
	サービスの拡大や充実を求める市民意見・要望が増えている		
	市が何らかの関与(監督、指導等)をしないと、問題が発生する可能性がある		
	当該事務事業が解決すべき課題が増えている。増えることが予想される		
その他			

②目標達成度の評価

H28年度の目標達成度			
A:達成した(100%)		B:概ね達成できた(80%以上)	C:達成できなかった(80%未満)
判断理由	活動指標の目標を達成した		成果指標の目標を達成した
	業務改善方針等の指標に現れない目標を達成した		
	達成できた内容/できなかった内容・理由(必ず記入)		
	・大瀬運動公園施設の機能の一部を中川河川敷包括占用区域の多目的広場に 移転することについて、公共補償費の国との協議が難航したことから、平成 28年度中の工事発注ができなかったが、地権者からの借地により、大曽根公 園を整備したことから、目標を概ね達成できた。		
	その他		

③実施内容・方法の評価

成果向上やコスト削減のための見直しの余地			
余地が大きい		余地がある	余地が全くない
判断理由	民間委託や指定管理者制度の活用などの事業手法を再検討する余地がある		
	事業費や人件費などのコストを圧縮する工夫が考えられる		
	業務の進め方や手続き(業務プロセス)を簡略化・簡素化することが考えられる		
	社会情勢やニーズの変化等により、サービスの対象・量・水準を見直すことが考えられる		
	成果を高める工夫が考えられる		
その他			

④公平性の評価

i. 受益者が一部に偏っているか			
偏りがある		やや偏りがある	偏りがない
非該当			
ii. 受益者負担の見直しの余地			
余地がある		余地がない	受益者負担がない
非該当			
判断理由	使用料・手数料等の料金設定を市で行うことができる		
	国や県、民間事業者等が同種・類似サービスを提供している		
	受益者の負担割合が国等の定めている基準を下回っている		
	使用料・手数料等の見直しから5年以上経過している		

■計画期間を通じた課題と対応策

課題	評価時点で認識されている問題・課題		
	課題はほとんどない	ある程度課題がある	大きな課題がある
考えられる対応策	<p>・今後、土地区画整理事業地内の公園予定地が確保された場合、整備に向けた財源の確保が必要であり、計画的な整備が困難な状況にある。</p> <p>・整備に向けた財源の計画的な確保について検討するとともに、公園整備前において公園予定地が確保された場合は、地域の町会自治会との理解と協力を得ながら公園の暫定利用等も含め検討していく。</p>		

■総合評価(最終目標に対する進捗状況)

- ☆☆☆: 順調(最終目標達成に向け、順調に成果があがっている)
- ☆☆: 概ね順調(最終目標達成に向け、やや遅れているが概ね順調)
- ☆: 遅れ(このままでは、最終目標の達成が難しい)

総合評価	判断理由
概ね順調	<p>・大瀬運動公園施設の一部を中川河川敷包括占用区域の多目的広場に 移転することについては、国との協議が難航し、工事発注が遅れているものの、 土地区画整理事業や借地により用地確保した公園の整備等について順次、 進めていることから、概ね順調と判断した。</p>

今後の方向性(計画期間を通じた方向)

方向性	:現状のまま継続		:休止・廃止		:終了・完了	
	:見直して継続		:他事業と統合して継続			
	→	重点化(拡充)	手段を改善	効率・簡素化	その他	
経営資源(H29年度比)	事業費	増加	現状維持	削減		
	労働量	増加	現状維持	削減		
今後の実施方針(改善方針)	<p>・中川河川敷包括占用区域の多目的広場に移転する大瀬運動公園の一部施設については、国の河川改修計画に合せ移転整備を進めていく。</p> <p>・土地区画整理事業区域内で用地確保された公園の計画的な整備に向けた財源確保について検討する。また、早急に整備ができない場合は、地域に開放できるように暫定利用も併せて検討していく。</p>					